いろはにほへと（1960）

メディア 映画
ジャンル サスペンス　ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 109分
初公開日 1960/05/20

【解説】
　橋本忍が脚本を書き文部大臣賞を受賞した同名テレビドラマをもとに、橋本自身が国弘威雄とともに脚色し、中村登がメガホンをとった作品。1953年に実際に起きた保全経済会事件をモデルとしている。
　投資経済会は月三分の高配当をうたい、今や二十万人もの加入者から七十億もの出資額を集めていた。警視庁捜査二課の松本刑事は二年にわたり内偵を行っていたが、いまだに事件性を示すような証拠にたどり着いていない。理事長の天野は松本の動きを察知、政界の有力者たちに投資銀行法案の立法化を急ぐよう、運動資金のばらまきを始めた。法案が立法化すれば投資経済会は銀行と同じ扱いを受けられるためだ。しかしニューヨーク株式市場で株が大暴落し、投資経済会は三十億円もの損失を被ってしまう。

【クレジット】
監督 中村登
製作 深沢猛
原作 橋本忍　Shinobu Hashimoto
脚本 橋本忍　Shinobu Hashimoto
　国弘威雄
撮影 厚田雄春
美術 芳野尹孝
編集 浜村義康
音楽 黛敏郎　Toshiro Mayuzumi
出演 佐田啓二
　宮口精二
　殿山泰司
　三井弘次
　織田政雄
　伊藤雄之助
　浦辺粂子
　城山順子
　藤間紫

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.